

	御調査 79/93				コメント
	A	B	C	その他	
事業所のサービス提供に関する基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	50.6%	44.3%	8.9%	1.3%	
事業所が行っているサービスの情報を家族や地域に積極的に提供している。	43.0%	44.3%	13.9%	1.3%	
サービスの質の向上を目的とした検討体制がある。	45.6%	50.6%	5.1%	1.3%	
サービスの質の向上への取組に職員が参加している	45.6%	50.6%	6.3%	2.5%	
サービスの質の向上への取組に利用者やその家族等の意見を取り入れている	45.6%	43.0%	11.4%	2.5%	家族等の意見があるか否かが不明
サービスの質の向上に向けた計画的な取組を行っている	49.4%	46.8%	7.6%	2.5%	研修は行われているが、具体的な実施と評価を全職員が周知できるシステムの構築が必要かもしれない
職員の資質向上に向けた計画的な取組を行っている	39.2%	48.1%	15.2%	1.3%	介護施設の各専門職に必要な根拠のある知識習得が必要で、さらに共有することが必要と感じる。
職員の資質向上に向けた体制がある	35.4%	50.6%	17.7%	2.5%	毎日が目の前の業務に追われ、中・長期を見据えた計画さえ思いつかない現状がある。人材教育が必要と思える。
職員の研修機会を確保している	69.6%	30.4%	3.8%	0.0%	
職員に対する相談支援体制がある	43.0%	40.5%	17.7%	2.5%	相談しても解決に至らない事もある 相談体制があるのだから、しっかり機能していない様な気がする。
ハラスメント防止のための取り組みが行われている	48.1%	40.5%	15.2%	0.0%	
サービスの決定において利用者やその家族の意向を尊重している	67.1%	29.1%	3.8%	3.8%	
利用者やその家族からの不満や不服を解決するための取組を行っている	62.0%	31.6%	5.1%	5.1%	
行事やクラブ活動などへの参加や内容の決定に利用者の意向を尊重している	43.0%	36.7%	17.7%	7.6%	利用者へ参加の声かけがしっかり出来ているか…？と思う
利用者及び職員の人権やプライバシーに配慮している	49.4%	46.8%	7.6%	1.3%	排泄介助時にカーテンに隙間があることがある
利用者や職員の個人情報の保護を徹底している	57.0%	39.2%	7.6%	2.8%	情報が外部に漏れていることが多々ある。利用者情報だけでなく職員情報を退職した職員が知っている。 職員同士の話しの中で、個人情報もあり、それを利用者の前で話したりしてる事があるので、もっと気を付ける必要がある。
高齢者虐待防止のための取り組みを行っている	74.7%	22.8%	2.5%	6.3%	言葉遣いが気になります 言葉での制止が時にある
身体拘束の弊害の正しい認識と廃止のための取組を行っている	72.2%	25.3%	2.5%	3.8%	
利用者一人ひとりの目標を明らかにしたサービス実施計画を作成している	65.8%	30.4%	3.8%	6.3%	
サービスの標準的な実施方法を定めている	64.6%	35.4%	3.8%	3.8%	
サービスの標準的な実施方法について、職員に指導している	46.8%	48.1%	6.3%	5.1%	特定技能生が来られて以降、マニュアルが徹底されており、良いと思います。
利用者の状況などに関する情報を職員が共有している	46.8%	51.9%	6.3%	5.1%	日々変化する利用者の状況を知るためには自ら情報収集する必要があり、タイムラグがあると思う
サービスを実施した結果についてモニタリングを行っている	69.6%	21.5%	7.6%	5.1%	
必要に応じてサービス実施計画の見直しを行っている	73.4%	22.8%	3.8%	5.1%	
サービスを個別・具体的に実施するための方法を明らかにしている	63.3%	29.1%	6.3%	3.8%	
利用者の好みに合わせた理美容への支援を行っている	45.6%	36.7%	10.1%	11.4%	カットされた利用者との会話では、喜んでおられる 目を離かして取り組んでいる利用者を見かける 意思の疎通が難しい利用者が多い為わかりません
余暇活動や生きがいづくりへに対して支援を行っている	30.4%	54.4%	12.7%	6.3%	
家族や友人等とのつながりを維持するための支援を行っている	50.6%	39.2%	7.6%	3.8%	施設ケアマネや施設相談員が心を砕いていると感じる
利用者やその家族からの相談に積極的に対応している	65.8%	29.1%	3.8%	3.8%	
利用者の状況を利用者の家族等へ積極的に情報提供している	64.6%	26.6%	2.5%	7.6%	
快適な生活空間の整備に配慮している	49.4%	43.0%	7.6%	5.1%	居室の換気、カーテンを開けて光をいれる事を拒む利用者がおられ、なかなか難しい
快適な食事環境の整備に配慮している	48.1%	44.3%	8.9%	5.1%	食事介助の職員人数が足りない事があり、温かい食事を提供出来ない事が多々ある 食事スペースが狭い
郵便や電話などの通信機会を確保している	68.4%	20.3%	6.3%	6.3%	電話は訴えがあってもすぐ対応できない時もある
利用者の生活の範囲を地域へ広げるための取組を行っている					
事故防止や安全管理を徹底するための取組を行っている	69.6%	30.4%	2.5%	1.3%	
事故や災害の発生時に適切に対応できる体制を整備している	60.8%	34.2%	2.5%	2.5%	救急の研修は実施されるが、火事や地震といった自然災害の対策もしっかりしておきたいです。
自然災害発生時や感染症がまん延した時の事業継続計画(BCP)があることを知っている	69.6%		29.1%	3.8%	名称は知っているが詳細は余り知らない。
衛生管理等を徹底している	55.7%	46.8%	2.5%	1.3%	洗身時に固形石鹸を使う施設を聞いたことも見たこともない。不衛生
感染症まん延防止のための取り組みを行っている	67.1%		38.0%	0.0%	
利用者の健康保持に配慮している	70.9%	30.4%	1.3%	2.5%	入院する前に早めに病院受診が出来る事が望ましいと思う。
事業所の役割を果たすために必要な地域の関係機関・団体と連携している	62.0%	25.3%	6.3%	7.6%	
ボランティアの受入に配慮している	75.9%	17.7%	1.3%	5.1%	今のご時世からか存在見たこと無し
実習生を受け入れる体制を整備している	88.6%	10.1%	1.3%		